

2016年2月4日
株式会社電通
パナソニック株式会社

**電通とパナソニック、「プレミアム・スポーツコンテンツ」の事業開発で業務提携
— 2020年を照準に映像とデータをフル活用、新しいスポーツ体験をつくる —**

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）とパナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、社長：津賀 一宏）は、従来のスポーツ競技映像素材に、センシングによる選手のバイタルデータ（生体情報）、スポーツ画像解析によって得られる競技解析データ、スポーツ科学による分析情報などを付加・統合する「プレミアム・スポーツコンテンツ」を活用した事業開発に向け、業務提携を行うことで合意しました。

これにより両社は2020年を照準に、映像とデータをフル活用して新しいスポーツ体験をつくるソリューションの開発・事業化を目指します。

1. 協業の目的

高齢化社会の到来による医療費の増大を背景に、国民の健康寿命延伸とスポーツムーブメントの醸成が求められています。こうした中、電通とパナソニックは、スポーツの映像コンテンツを新しい形に進化させ、放送・通信や競技選手の育成などに活用できるサービスを提供することで、スポーツの魅力と競技力の強化、健康社会の実現に貢献します。

2. 業務提携の内容

電通が得意とする「クリエイティブ表現技術・サービス設計」と、パナソニックが得意とする「映像機器・センサー技術・映像解析技術」を組み合わせる「プレミアム・スポーツコンテンツ」を、主に以下の分野に向けたソリューションとして開発・事業化することを目指します。

① スポーツ放送・通信、エンターテインメント分野

データを元に躍動感・緊迫感・感動シーンを演出した映像などの「プレミアム・スポーツコンテンツ」を、放送・通信や映像エンターテインメントに活用するパッケージの制作・販売。

② スポーツ強化分野

制作した「プレミアム・スポーツコンテンツ」を、競技や育成レベルの向上のために各スポーツ団体やフィットネスクラブなどに提供。

今後も電通とパナソニックは、両社の強みを掛け合わせることで、スポーツ分野における新しい価値やサービスの創造に取り組んでまいります。

以 上